ゴーヘッズ 速報

Goaheads

第20号　平成21年　7月20日

好投政司被安打１だが、またもや今期初勝利お預け！

木下勝利を呼んだ選球眼＆好走塁！

	1	2	3	4	5	6	7	8
G	0	0	0	0	0	0	2	1
N	2	0	0	0	0	0	0	0

７／１８（土）本日２試合目のゲームを瀬谷本郷公園野球場にて、ニッポ電機と行った。本日の１試合目を快勝している事から、その勢いでこのゲームも勝利を手中にする予感があった。先攻は、我がチーム、本日初安打を記録して気を良くしている先頭須藤が、中前安打で出塁し、その後２盗、続く水原の左前安打で、ホームを狙うもビデオ判定はセーフだが、主審のジャッジは、アウト！ランナーを三塁まで進めるも、後続が倒れ、先制点のゲットはならなかった。この試合の先発は、今期６試合を投げているが、未だ勝ち星に見放されている、キャプテン政司、相手先頭打者の３球目に右前にクリーンに運ばれたが、ランナーへの２盗を梶原が見事な送球で刺し、振り出しに。しかし続く打者には、四球を献上、続く打者の３ゴロをサードがセカンドへ悪送球、この間に先制を許した。バッターランナーは一挙３塁まで進み、１塁への牽制球を政司が暴投し、初回２点を献上し終えた。その後、両チームとも淡白な攻撃が続き、最終回７回の我がチームの攻撃、相手投手の投球に翻弄され続けた我がチームであったが、現在首位打者の山田が、サード内野安打で出塁、サードの悪送球の間に一挙２塁へ、続く須藤が中前安打で、水原が死球をゲットし、ノーアウト満塁、３番４番が倒れ、２アウト満塁、万事休すかと思った、梶原の打席。何と相手投手が本日初のＷＰ、余程梶原の凄みが利いたのかどうかは分からないが、これで、１点差、３球目を打った梶原の打球は、３塁への打球、懸命に走った梶原が、野手の暴投を誘い、内野安打、これで、同点、今度は、逆点の展開だったが、田島が倒れ、同点止まり。この回からマウンドに上がった達脇が四球を出したものの、４人で押さえ、８回の我が攻撃、先頭木下が四球を選び出塁、その後、意表を付いて、２盗、３盗を決め、ノーアウト３塁と絶好の勝ち越しのチャンス、この場面にチーム最多残塁を記録している政司が、きっちり、ショート横へゴロを叩き、この間に３塁から木下が生還し、逆点に成功した。裏は、Ｍｒ．Ｋが２つの三振をゲットし、３人で終わらせ、見事逆点勝利を手中に収めた。しかし、振り返ってみると、苦戦を強いたのは、主審（攻撃側審判）と不慣れな、打席での行動であろう。４回のチャンスにバント失敗で見す見すＤＰを喫した。２塁ランナーのスタートが良く、殆ど３塁へ到着していただけに、非常に悔やまれる失敗、ジャッジに関しても、初回のホームでのジャッジ、６回のストライクの判定、共々、もう少し、正しく判断していれば、もっと違った展開になったと感じる。これらは、総称して野球を学ぶ事によって、メンバー共々成長して行けば、良いと思う。それにしても、最後の７回、８回の攻撃は非常にチーム一丸を感じた良い内容であった。この勢いを維持しながら、２つの借金を早期に返上したいものですね！　しかし、被安打１の政司君、次回は勝利を贈呈しますよ！